



JICA ルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト



プロジェクトは、対象5病院での医薬品管理能力を強化するため、*Zambia Medicines and Medical Supplies Agency (ZAMMSA)*を表敬訪問しました。

NCGMから派遣された、二人の短期専門家は、5つの病院とZAMMSAを訪問

JICAプロジェクトは、『アイデア・ラボ』と名付けたサテライトオフィスを対象病院に開設

JICAプロジェクトは、キャパシティビルディングを通じて、対象病院のスタッフと共に働く準備を整えています。

フォトフォーカス
連絡先



NCGMから派遣された 二人の短期専門家 5つの病院とZAMMSAを訪問

JICAルサカ郡1次レベル病院運営管理能力プロジェクトは、国立国際医療研究センター 国際医療協力局に2人の短期専門家派遣を要請し、ザンビアで活躍していただきました。



写真(左から右):清原先生、宮野先生、Mrs. Sondashi(Director Logistics), Mr. Siankuku, 法月チーフアドバイザー、Mr. Kazuma(Acting Managing Director)

WHO(世界保健機関)によると、世界の3分の1人々は必須医薬品を定期的に入手できていないと言われています。医薬品がなければ、医療システムが機能することは非常に困難です。そのため、ヘルスケアと必須医薬品へのアクセスは、基本的人権とみなされています。プロジェクト目標である一次レベルの病院の病院管理能力を強化するために、医薬品および医療機器の管理能力を強化するための活動(プロジェクトの活動3)の一環として、JICAプロジェクトは2人の日本人専門家を招聘し、医薬品・医療機器管理に関する課題を評価し、改善策を提供しました。二人の専門家は、ルサカ州保健局長のMwale博士を表敬訪問した上で、5つの病院を

視察し、各病院のスタッフ、患者、ルサカ州保健局・ルサカ郡保健局にインタビューし、現状調査を行いました。清原専門家は、マテロとチャワマ病院の薬剤師と会い、現場に張り付くことで病院側からの在庫管理と薬剤管理について調べました。さらに、プロジェクトチームと共に、ZAMMSAを表敬訪問し、Acting Managing DirectorのMr.KazumaとDirector LogisticsのMrs. SondashiからZAMMSAの医薬品管理の現状について説明を受けるとともに、病院レベルの必須医薬品の在庫管理におけるギャップについて議論しました。この訪問はプロジェクトにとって、大変有意義なものでした。宮野専門家はマテロとチャワマ病院で医療器材管理責任者と会い、病院での医療機器の管理方法、課題、および必要となる支援について議論しました。

Dr, Mwale ルサカ州保健局長は、ルサカ州保健局長は、2人の短期専門家派遣についてコメントし、国際協力機構(JICA)がルサカ州保健局で行っているプロジェクトに対する重要性と支援への感謝の気持ちを表明しました。



写真(左から右): 短期専門家の宮野医師、清原医師、法月プロジェクトチーフアドバイザー、Mr. Kazuma(Acting Managing Director)



宮野医師は、チャワマ病院で医療器材管理担当者と議論している



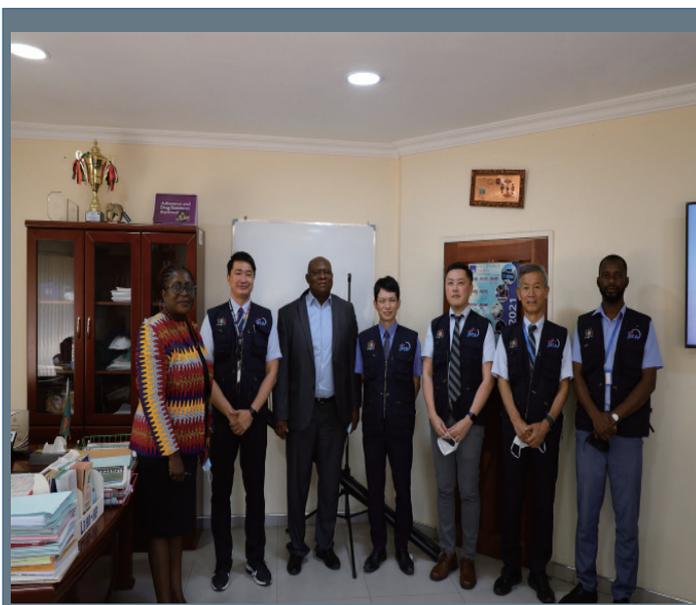
清原医師は、薬剤師長Mr. Sinkondeと議論している

JICAプロジェクトは、『アイデア・ラボ』と名付けたサテライトオフィスを対象病院に開設
 協調における重要な要素の2つは、コミュニケーションと知識であり、私たちはその重要性を認識しています。このJICAプロジェクトの場合、5つの機関すなわち、保健省(MOH)、ルサカ州保健局(LPHO)、ルサカ郡保健局(DHO)、および5つの総合病院(チャワマ、チレンジェ、チパタ、カニヤマ、マテロ)間のコミュニケーションになります。さらに互いに同じ知識に基づく共通認識が必要になります。これは、プロジェクト病院とすべてのカウンターパートにとって非常に重要な要素です。このような背景から、私たちのプロジェクトでは、ルサカ州保健局のヘッドオフィスに加え、5つの総合病院にサテライトオフィスを設置しました。これらのオフィスの目的は、プロジェクトのスタッフが病院の中で共に仕事を行うことで、気軽に病院スタッフと対話することで、情報交換を容易にすることです。サテライトオフィスは、プロジェクト病院およびカウンターパートの間で、品質管理と質の高い患者ケアを実現するためにどのように強化するのかについての情報交換とアイデアの共有を目的とした「アイデア・ラボ」として機能します。サテライトオフィスは、プロジェクトと病院での活動についてもっと知りたいと思っているすべてのスタッフとカウンターパートに開かれています。プロジェクトチームは、この取り組みにより、プロジェクトが施設と簡単にコミュニケーションし、多くの情報が収集され、プロジェクトがより良い医療サービスの提供を支援し、実現するために役立つと確信しています。



アイデア・ラボの1つ、チャワマ総合病院

フォト・フォーカス プロジェクト短期専門家がルサカ州保健局の保健局長を表敬



プロジェクトをもっと知るために

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane, Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101, ZAMBIA

E-mail: cassiopeia.project.zm@gmail.com
 Website: <https://www.jica.go.jp/project/english/zambia/023/index.html>